

「戦争反対」日本各地で

「悲しい出来事が起きてしまった」。1996年から都内に住む会社員セルビ



ウクライナへのロシアによる軍事作戦が始まり、東京・渋谷で抗議活動する日本で暮らすウクライナ出身者ら
=24日午後

ー・コレノフさん(49)は声を落とした。日本時間の24日午後2時前、テレビ電話に出たキエフ在住の姉(64)は「近くで大きな爆発音がした」と語り、暗い表情だったという。1人暮らしをする母(85)は健康状態が良くなく、「万が一の時に逃げられるか不安だ」。

今年4月、3年ぶりに姉と母に会いに行く約束をしていた。「家族に何かあったら、ずっと申し訳ない気持ちが残ると思う。もとい早く行けば良かった」と毎

やんだ。
渋谷駅前では、ウクライナ出身者や日本人らが抗議。

会員制交流サイト(SNS)

を通じて数十人が集まり、ウクライナ国旗や「戦争反対」のポスターを掲げながら、「アーチンストップ ウォー」と歓声を上げた。

東京都世田谷区の会社員ユリー・クリエニクさん(22)は、キエフ近くの街に住む両親と連絡を取つた際、近くの飛行場に爆撃があったと聞いた。「両親は非常に怖がつており、眠れないようだった。全世界の人たちにこの問題を知つてもらいたい、助けてほしい」と呼び掛けた。